

石膏プログラム9月10月講座（9/2～10/29）

ヘルメス

作者はブラクシテレス（紀元前4世紀頃の彫刻家）。

ギリシャ、オリンピア考古博物館所蔵。

像のほとんどが模刻なのに対して、これは原型なのではないかという説がある。

右手にブドウ、左手に伝令杖（アポロンからもらったもの）を持っている。

肩の手はディオニソスのもの（ディオニソスは幼い酒の神なのでブドウであやしている。ディオニソスは別名バッカス）。

ディオニソスはゼウスとその愛人セメレの間に生まれた子でありヘルメスはゼウスに頼まれディオニソスをゼウスの正妻ヘラに見つからないところに連れて行くところ。

左足を上げているが右足に重心があり、直立ではなく、支えになっている樹木に寄りかかる動きをしている。

このような表現はギリシャ彫刻のコントラポストという表現技法。



ブルータス、マルス、ジョルジョと共に美術大学の入学試験でよく出題される像です。ポイントは
□頭部の傾き。 □身体のパリウム。 □頭部の面に沿った髪の毛の凹凸の描写。 の3つです。
是非チャレンジしてみましょう。

講師 中島